

## H28シカ年度エゾシカ捕獲事業（隣接地域） （案）

### 1 経緯と方針

- ・北海道森林管理局では、H25 シカ年度から遺産地域に隣接するウトロ地区～真鯉地区での捕獲事業等を開始したところ。
- ・希少猛禽類が高密度に生息していることから、捕獲方法は当面囲いワナを主体とし、積雪期にエゾシカの集結する海岸沿いに約 1km 間隔で囲いワナ等を配置することをイメージ。
- ・地形条件等のために囲いワナ設置が難しい箇所においては、銃を用いた捕獲を H26 シカ年度から試行。
- ・また、北海道森林管理局発注事業だけでなく、民間活力を利用した三者協定による囲いワナ捕獲（斜里町、網走南部森林管理署、エゾシカファーム）も継続して実施。
- ・可猟区においては、林道等を除雪して一般狩猟を支援。

### 2 H28 シカ年度捕獲事業等の内容

#### (1) 囲いワナ

##### ①新設 1 箇所

森林管理局発注事業：ウトロ東（12 月までに設置） 目標 20 頭

##### ②改良 1 箇所

森林管理局発注事業：ウトロキャンプ場（12 月までに改良） 目標 40 頭

##### ③既存ワナ（12 月下旬～3 月中旬）

森林管理局発注事業：フンベ川 目標 30 頭

弁財崎 目標 50 頭

オシンコシン崎 1 目標 40 頭

オシンコシン崎 2 目標 50 頭

マコイ沢 目標 10 頭

三者協定：三段滝外 (50)

#### (2) 既存箱ワナ

森林管理局発注事業：金山川（3 個設置） 目標 20 頭

- ・昨年までの捕獲事業の誘引状況により、遺産隣接地域は可猟区又は可猟区と接している地域であるため、警戒心が非常に強い個体群であることが判明。
- ・このため、誘引に十分な時間をかけるとともに、捕獲の効率化を図るため既存の囲いワナの一部改良や手動ゲートの自動捕獲ゲートに変更する等で対応していく考え（森林管理局発注事業）。
- ・可猟区内に設置したマコイ沢や金山川については、可猟期間中（2 月）から誘引を行う等の対応を検討。

#### 【囲いワナ設置数の推移（H28 は最大数）】

	25年度	26年度	27年度	28年度
ウトロ地区	1 (1)	2 (1)	3 (1)	4 (1)
遠音別地区		1	2	2
真鯉地区		1	1	1

（注：カッコ内は三者協定によるもので外数）

## (3) 銃猟

①モバイルカリング (3月中旬から2回を予定)

目標 10 頭

森林管理局発注事業：オペケプ林道等

②オペケプ林道入口付近においては遠距離射撃も検討 (3月に2回程度)。

- ・過去の実施結果を踏まえて、より効果的な捕獲を図るため対象区間を限定して実施予定。(H27：2.7km → H28：2.3km) なお、誘引期間の確保と誘引方法の改善が課題

## (4) 狩猟支援除雪 (12月下旬～2月下旬)

①オペケプ林道：対象区間 (H27：3.0 km → H28：3.0 km) で実施予定。

※地区別捕獲目標 (狩猟支援による捕獲頭数は含まない)

- ・ウトロ地区 140 頭
- ・遠音別地区 90 頭
- ・真鯉地区 30 頭

## 3 可猟区における捕獲事業について

オペケプ林道周辺でのモバイルカリングや遠距離射撃と金山川での箱ワナによる捕獲を実施する予定で、誘引期間を確保するために別紙1のとおり進める考え。